

2015年6月 定期報告と次月度以降の活動予定

活動日誌

6月	1日	JA栃木中央会「TPPを考えるフォーラム」・くらし部会
	2日	とちぎ消費者ネットワーク幹事会
	3日	栃木県次期プラン策定懇談会
	4日	宇都宮市職員生協総代会
	4日	常務理事会
	11日	とちぎ食の安全ネットワーク世話人会
	12日	日本生協連総会
	13日	よつ葉生協総代会
	14日	栃木県母親大会
	15日	とちぎ農産物マーケティング協会打合せ
	16日	ふれあいお茶会・とちぎコープ総代会
	17日	パルシステム茨城総代会
	18日	生活クラブ生協総代会・学校生協総代会
	19日	パルシステム群馬総代会
	22日	適格消費者団体研究会・県職員生協総代会
	25日	第10回「組合員理事・組織担当職員学習会」
	26日	第46回通常総会
	27日	いわき四倉お茶会
	28日	医療生協総代会
30日	とちぎ農産物マーケティング協会総会	
7月	2日	栃木県教育委員会教育長懇談
	7日	栃木県次期プラン策定懇談会
	8日	小山市総合計画策定懇話会
	13日	くらし部会
	14日	常務理事会・災害対策交流会
	16日	県民生活部部长訪問、食の安全ネットワーク全体会
	17日	とちぎ消費者カレッジ宇都宮短期大学
	21日	ふれあいお茶会
	21日	消費者ネットワーク全体会
	28日	とちぎ食の安全・安心推進会議
	30日	マイナンバー制度学習会
31日	栃木県労働者共済生活協同組合(全労済)総代会	
8月	1日	いわき四倉ボランティアお茶会
	4日	栃木県次期プラン策定懇話会
	7日	栃木県くらし安全安心課との懇談会
	11日	理事会
	20日	食の安全ネットワーク世話人会
	27日	栃木県とちぎ食育推進連絡会
	29日	ふれあいお茶会
	30日	栃木県防災訓練

県連活動

1. 機関運営

- 6月4日第9回常務理事会が開催されました。

話われた案件は、総会の全体的な準備、役員推薦委員会の報告、戦後70年の平和活動について、県くらし安全安心課との意見交換会の実施、就業規則の改定、栃木いのちの電話の活動報告などでした。

- 6月26日第46回通常総会が開催されました。

ご来賓に、栃木県くらし安全安心課課長 板橋様・栃木県農業協同組合中央会専務理事 猪瀬様・栃木県労働者福祉協議会会長 加藤様・日本生協連総合運営本部本部長兼会員支援部長 大本様にご列席をいただきご挨拶をいただきました。代議員は、実出席27名、書面出席7名の34名全員が出席し、すべての議案について全会一致で可決されました。議案の提案に加えて議案を深める意味合いで、出席されている会員、賛助会員の報告がされました。新しく理事になられた方は、栃木県学校生活協同組合伊藤理事長、とちぎコープ塚原執行役員同じく川村理事、栃木県生活協同組合連合会江波戸の4名です。

(議案)

- 第1号議案「2014年度事業報告・決算報告・剰余金処分案承認の件」及び監査報告
- 第2号議案「2015年度事業計画及び予算承認の件」
- 第3号議案「役員補充選任の件」
- 第4号議案「役員(理事、監事)報酬枠承認の件」
- 第5号議案「議案決議効力発生の件」

2. 『組合員理事・組織活動担当職員学習会』の開催

6月25日第10回学習会が開催され、昨年9月からシリーズで開催されてきた学習会が終了しました。最終回は、「学習会で何を学んだか」「生活協同組合は社会(地域)から何を期待されていると考えますか」「理事、組織担当者職員として、自分のすべきことは何か」をテーマに全員でワークショップを行い、考えをまとめました。さらに参加者の中から5名がパネラーとなり、このテーマについて深めました。

	日	テーマ	講師	参加
1	9/22	「協同組合思想とその歴史」	栃木県生活協同組合連合会 竹内会長理事	36人
2	10/27	「今なぜJA改革なのか」	宇都宮大学 農学部 農業経済学科 秋山満教授	35人
3	12/01	「共有を深めるワークショップを学ぶ」	宇都宮大学 教育学部 陣内雄次教授	39人
4	12/15	「昨今の消費者問題と消費者市民社会の意義」	横浜国立大学 教育人間科学部 西村隆男教授	64人
5	1/20	「山谷の現状からみえてきた事 地域住民による生活困窮者の支援」	NPO法人自立センターふるさとの会 滝脇憲常務理事	40人
6	2/23	「くらしから考える生協の活動」	教育アドバイザー毛利敬典氏	35人
7	3/16	「栃木県という地域が抱える様々な問題について」	NPO法人宇都宮まちづくり市民工房理事 安藤正知氏	29人
8	4/27	「いごちの良い場のあり方・つくり方」	至誠キートスホーム施設長 大村洋永氏	34人
9	5/25	「日本経済(アベノミクス)と日々の暮らしの関係について」	高崎経済大学経済学部 矢野修一教授	33人
10	6/22	「私たちが考える生協の役割について」	参加者全員ワークショップ	31人

3. くらし部会

第1回の部会が6月1日に開催されました。議題は、「戦後70年を考える取組み」を大きなテーマにした「沖縄問題から見る日本の平和」について学習する機会を設けることについて話し合いをしました。また、「うつのみや食育フェア」と「食と農をつなげる会」の検討を行い、この間の行政関係や友誼団体との協働活動について振り返りをし、参加会員からの活動報告と交流を行いました。

4. 栃木県適格消費者団体研究会の開催と参加

栃木県における適格消費者団体の設立に向けた研究会「栃木適格消費者団体研究会」が5月に発足し、第2回研究会が6月22日に開催され、司法書士会に対して、研究会への参加呼びかけをした報告、設立準備の意見交換、他県の団体等の事例などを話し合い、交流しました。今回は、宮城県仙台市にある「適格消費者団体東北設立準備会」を視察する予定です。

ネットワーク活動

1. とちぎ食の安全ネットワーク

6月11日定例の世話人会が開催されました。議題は、5月21日の全体会で実施した学習会「食物アレルギーの基礎知識と緊急時の対応について」の振り返りと、11月12日及び12月3日に開催予定の「食品安全セミナー」の準備・検討を行い、7月16日全体会での学習会「HACCP パートⅡ」（講師：宇都宮大学宇田靖名誉教授）の確認、9月17日全体会での学習会「機能性食品表示」（講師：日本生協連安全政策推進室 鬼武 一夫氏）の確認をしました。また、7月15日に栃木県が開催する食品表示法に係る説明会「食品表示法制定の経緯と食品表示基準の概要について」（講師：消費者庁食品表示企画課）の案内がされました。

（食品安全セミナー） ※栃木県との協働

日時	場所	テーマ	講師	参加
10月22日 13:30-16:00	県庁研修館講堂	<第14回とちぎ食品安全フォーラム> (仮題)「知ろう、防ごう、食中毒」 ～意外と知らない食中毒～	食品安全委員会事務局	
11月12日	県庁東館4階講堂	<食品安全セミナー(仮称)> (仮題)「輸入食品と食品の安全性について」	内閣府	
12月3日 10:00-12:00	小山市文化センター小ホール	<食品安全セミナー(仮称)> (仮題)「食品添加物と食品の安全性について」	内閣府	

（全体会での学習会）

	日時	テーマ	講師	参加
①	5月21日	「食物アレルギーの基礎知識と緊急時の対応について」	獨協医科大学小児科 吉原重美准教授	
②	7月16日	(仮題)「HACCP パートⅡ」※昨年12月の「はじめてのHACCP講座」に続く2回のHACCPについての学習	宇都宮大学 宇田靖名誉教授	
③	9月17日	(仮題)「機能性表示食品について」	日本生協連安全政策推進室 鬼武一夫氏	
④	12月17日	「食の安全についてパネルディスカッション」	パネラーはネットワークの委員から	
⑤	3月17日	未定	未定	

※会場=宇都宮アグリプラザ

2. とちぎ消費者ネットワーク

6月2日定例の幹事会が開催されました。今回より、栃木県商工会議所連合会常務理事と宇都宮大学国際学部の准教授が加わりました。

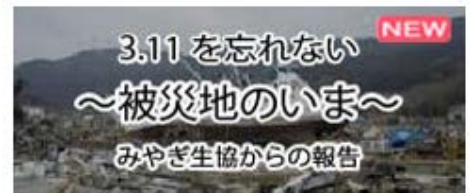
幹事会では、栃木県県民生活部くらし安全安心課消費者推進室との意見交換を本年実施した「栃木県消費生活に関する県民意識調査」報告等を交え、消費者被害の現状と対策について交流しました。また、幹事会での学習計画やとちぎ消費者カレッジの進行状況の報告、フェスタ my 宇都宮などの協働活動の報告がされました。

（とちぎ消費者カレッジ）

日時	開催	講師	テーマ	対象	人数
5/13 13:00-	国際医療福祉大学大講堂	NPO 法人とちぎ消費生活サポートネット理事 山田英郎氏	あなた！狙われているかも？ ～20歳になる前に知っときたいこと～	1年生	482人
5/13 14:40-	〃	〃	〃	1年生	459人
7/17 14:45-	宇都宮短期大学1号館301	栃木県在住消費生活アドバイザー 会長理事 高岡得郎氏	未定	1.2年生	
11/5 14:40-	作新学院大学3405教室	NPO 法人とちぎ消費生活サポートネット理事 山田英郎氏	未定	2年生	
11/5 16:20-	〃	〃	未定	2年生	

震災支援活動

- みやぎ生協から発信される「3.11 を忘れない 被災地のいま」をホームページで連続掲載支援しています。6月第22回「声なき在宅被災者の苦しみ」をアップしました。



- 東日本大震災、福島第一原発事故避難者支援「お茶会」の取組み

第 38 回「いわき市四倉仮設住宅お茶会」まとめ

開催日時：2015年6月27日（土） 午前10時:30～13時:30

開催場所：いわき市四倉仮設住宅 交流室

参加者：9名 スタッフ：10名

スタッフ感想から

- ① ここに来るといつも、参加者の方が季節の花を活けて私たちを迎えてくださる。気遣いを感じる。
- ② 仮設の期限も決められているが、参加者は月一回のお茶会を、とても楽しみにしてくださっている。継続しなければと思う。
- ③ 仮設に1人でいてもしょうがない、畑にでも出て動いていないと体調が悪くなると、自宅で畑仕事をしている参加者がおっしゃったのが印象的だった。（採れたジャガイモなどをくださるが、毎回放射性物質の検査をしている）
- ④ 押し花はスタッフが手作りしたので「ここまで時間をかけて準備してくれて、本当にありがとう」「最近体調が悪かったのに、こんな力が残っているとは思わなかった。今までで一番楽しいかも」と、楽しそうに押し花を選んでいる参加者を見て、よかったと思った
- ⑤ 参加者が、自分で工夫して作ったエコクラフトの靴とランドセルなどを、わざわざ見せに来てくれた。マッチ箱を見てインスピレーションが湧きランドセルを作ったとのこと。また、自宅にある珍しい八重咲マーガレットを飾ってくれた参加者は「次の時に苗を取ってきてやっから」と言ってくれた。皆さんと打ち解けた関係になれたことがとても嬉しいし、この場を大切にしたいと思う。

「第44回ふれあいお茶会」まとめ

開催日時：2015年6月16日（火） 午前10時～12時

開催場所：特別養護老人ホームみどり 地域交流室

参加者：浪江町6名 スタッフ：10名

スタッフ感想から

- ・参加者は少なかったが、いつも通り和気あいあいとした楽しい時間を過ごした。
- ・今月20日に埼玉へ引っ越しをする方、お茶会当初から毎回のように参加して下さり、思い出すとさびしい気持ちになる。
- ・ランチョンマットを1枚、2枚と夢中になって作っていた。みんなで一緒につくること、ひとつの物を完成させることが喜びとなるようだ。作品についての話も広がった。
- ・私は四倉のお茶会にスタッフとして参加している。参加する避難者の方は、手芸やスタッフとのおしゃべりが楽しくて集まっているようだ。
- ・当日はスタッフ不足のためふれあいコープの職員さんに応援を頼んだ。事前の準備、当日の進行も良く無事終了することができた。